３学年第１時「すごろくトーキング＆ドゥーイング」支援プラン　自己開示

【エクササイズ（ＥＸ）＆準備物】

　　ウォーミングアップ『一致団結　ソーレ！　７回バージョン』：準備物なし

　　メインＥＸ『すごろくトーキング＆ドゥーイング』： 駒（人数分）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　すごろくシート・カードセット（各班）

【ねらい】

　新しい学級で初めて共同作業を行うのが、ウォーミングアップの「一致団結ソーレ！」である。拍手という簡単な動作だが、声を出しながらあわせて行うことで、達成感を味わえる。まだ緊張感のある新しい班で、自己開示をすることで、班員どうしの理解を深め共感性を養う。三年生ということもあり、ドゥーイングの要素を加え、感情などの自己開示にもチャレンジする。

【概要】

　教員の「一致団結ソーレ！」というかけ声の下、全員で拍手を１回から７回まで繰り返していく。揃わなかったら最初からやり直してもいい。声を出し体を動かすことで、心をほぐしてメインエクササイズに入っていく。班ごとにすごろくのお題に沿ったトーキングを、班でルール（パスの回数や話を聞くときの相づちの言葉等）を決めながら進めていく。「カードをひく」に止まるとドゥーイングカードが用意されているが、「嬉しさ」や「悲しさ」などを演じる「独りミニロールプレイング」が含まれている。感情対処の側面を持ちながら、より深い仲間への理解へ通じていく。

【流れ】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 活動の流れ | 留意点・教具等 |
| ウォーミングアップ | 『一致団結ソーレ！　７回バージョン』  　　指導者の「一致団結ソーレ！」というかけ声を合図に、全員が「ソーレ」と声を出して「パン！」手拍子１回、「ソーレ」２回と増やしていき、７回まで続ける。７回までいったら、逆に６回、５回と下がっていき、最後の１回の拍手の音が、教室に響き渡る。気持ちを合わせて手拍子が揃って教室に響き渡るのが心地よい。５回、３回バージョンもある。 | ○大きな声で、明るく、リズミカルにリードしていく。  ○最後に「パーン！」で終われば気持ちよいが、そろわなくても、ご愛敬！ |
| エクササイズ | 『すごろくトーキング＆ドゥーイング』  【ルール】  ①順番にさいころを振り、出た目の数を進み、止まったところのお題について答え、「カードを引く」という目に止まった時は、カードを引いて書かれている内容の指示に従う。  ②班でルール（まわる順番、ゴールの方法等）を考える。  ③ちゃんと受けとめ（「へー」「そうなんですか」等）をする。  ④言いたくないお題・カードの指示については、「パス」してもいいが、「パス」の回数は班で決めておく。  ＊すごろくシート、ドゥーイングカードはＨＰよりダウンロードできます。 | ○班に布製サイコロ１個、すごろくのコマ人数分、すごろくシート１枚を配布する。  ○ルールを徹底して安心して語れる環境をつくる。  ○ローカルルールＯＫ。  ○もちろん自分なりの受け止め方でよい。「無視」だけはしないように。  ○もちろん、「すべてパス」もある。 |
|  | 活動の流れ | 留意点・教具等 |
| エクササイズ | 【エクササイズの流れ】  ①班でルールを決め、順番にさいころを振ってすごろくを始める。  ②一人ひとりの発言を、心で受けとめながら。  ③「カードをひく」の目に止まったときには、ドゥーイングカードを１枚引き、その指示に従う。  ④発言に対して質問をしてもいい。  ⑤全員がゴールすれば終了。 | ○ドゥーイングカードの一例を教員がモデリングをするなどして、子どもに安心感を与える。  ○活動が停滞している班には、中に入って聴き役にまわったりして支援する。 |
| ふりかえり・シェアリング | ①グループで気づきを交流する。  　＊班でのナイスアンサー・ナイスドゥーイングを選ぶ。  　 ＊学級でナイスアンサー・ナイスドゥーイングをシェア。  ②ふりかえり用紙に記入する。 | フィードバックの視点  ・班での工夫（ルール等）を紹介する。  ・自己開示の心地よさを生徒のふり返りからひろう。 |

〔参考文献〕『構成的グループエンカウンター辞典』國分康孝・國分久子編　図書文化社ｐ３８４

【ポイント】

　すごろくのお題に沿ったトーキングを、班でルールを決めながら進めていく。お題は、駒が進むに従って徐々に内容の深いものになっているので、やりとげた後の心地よさを感じてもらいたい。三年生という中学校生活での成熟した学年の自己開示として、「感情」をメインにしたものにすることは、より個人の深い部分での交流となる。子どもたちの関係性レベルでの感情対処する規範意識が「独りロールプレイング」により醸成される。

|  |
| --- |
| 子どもの気づき |
| ・班の人は今まで関わりのなかった人がほとんどだけど、すごく盛り上がったので良かったです。  ・班のメンバーのいいところをたくさん見つけることができました。みんな一人一人いろいろ違うところがたくさんあってすごくおもしろかったです。  ・あまり知らない人の前で自分のことを言うというのは、はずかしかったが、パスを誰一人使わず出来て良かった。  ・思っていたより話しやすかったので、これから１学期間うまくいきそうです。  ・カードのお題で盛り上がった。ずっと歌ってる子もいたし、イライラした顔、リアルでした。 |

|  |
| --- |
| 教員からのコメント |
| ・トーキング系はやはり盛り上がります。すごろくの方は、単発の答えが多かったのですが、カードを引いてのアクションは、グループ一体となって盛り上がっていました。やはり、今までの自己開示の授業の積み上げという感じがしました。子どもたちの動きがあって、心を開放している感じを受けました。全体的に笑い声がよく聞かれ、パスの回数はとても少なく、他者の意見を受け入れ合う姿勢が印象的だったと思います。 |

＊道徳の内容項目との関連：　1-(3) 自主自律　　2-(3) 信頼友情

（担当：大橋　敬美）